

KOKUFU NEWS

国府高校だより (Vol.20)

〔インターネットのホームページ <http://www.kumamotokokufu-h.ed.jp/>〕

Vol.57

(通巻57号)

編集発行
熊本国府高等学校
企画広報部
熊本市国府2丁目15番1号
TEL(096)366-1276
FAX(096)364-8544
テレビサビス(096)366-3000

学問あるべき社会の大切さ

校長 星子 孝之



校長 星子 孝之

文部科学省は、先に平成一六年度学校基本調査の速報を発表した。

それによると、中学校卒業者が二九万九千人、その進路の割合をみると、高校(高校、中等教育学校)後期過程、盲・ろう・養護学校高等部、高等専門学校)への進学率は過去最高の九七・五%となっている。

高校進学率を都道府県別にみると最も高いのが新潟の九九・〇%、次いで山形・石川の九八・五%、岩手・富山が九八・四%、北海道・山梨が九八・三%、そして熊本が九八・二%である。

その外の進路は、専修学校等進学率が〇・五%、就職率が〇・七%、家事手伝いその他が一・三%。中学校卒業者の大部分が高校に進学し、後期中等教育が極めて普及していることがわかる。

一方、高校卒業生数は一二三万五千名、その進路の内訳をみると、大学短大(大学・短大・高校専攻科・盲ろう・養護学校高等部専攻科)への進学率は四五・三%で前年を上回り過去最高で

ある。

大学短大進学率を都道府県別にみると上位・下位各一〇都道府県は表の通りであり、最上位が京都の五五・六%、最下位は四六位の三三・六%となっている。

その外の進路は、専修学校(専門課程、一般過程、各種学校、公共職業能力開発施設)進学率が二八・三%、就職率が一六・七%と依然として減少傾向にある。家事手伝いその他は九・七%である。

中学校卒業生、高校卒業生の進路動向について共通していることは、就職するものの割合は低下し、進学するものの割合が過去最高と伸びていることである。相違していることは、高校進学率が都道府県別にみても上位と下位の開きはあまりなく、新潟と沖縄の差は三・三%と小さい。ところが、大学短大進学率は上位と下位の開きが大きく、京都と沖縄の差は二四・六%である。ところが大学短大進学率は全国五位の五二・

もあり地域によって進学率が大きく異なるのは問題である。

熊本 大学進学率低迷
熊本の場合、高校進学率は全国平均の九七・五%よりも高く、都道府県別で全八位、ところが、大学短大進学率は全国平均四五・三%より低く、最も高い京都と比較し二二・〇%も低くその差は大きい。

熊本は、高校進学率は高いが、何故に大学短大進学率が低迷しているのだろうか。まず、表に示した所得の高低、また、その地域にどれだけの大学が存在するかがその要因になると考えられるが、どうもそれだけではなく外に大きな要因があるように思われる。

山梨の場合、所得は熊本よりもやや高いが全国平均よりかなり低い。大学の数は熊本とほぼ同じ一三大学である。ところが大学短大進学率は全国五位の五二・

〇%である。大学短大進学率を高めることのみが、人々を幸福にするとは思わないが、産業社会から知識社会へと移行している動きの中で、モノ自体よりも知識が大きな価値を生む時代になることを思うと気に掛かることである。

学問スタート

すべての人々に学問を、さて、明治五年八月、政府は学制を公布した。学制の目的は「邑(むら)に不学の戸なく、家に不学の人なからしめんことを期す」であり、また、身分・男女の別なく「身を立てる財本」である学問を学ばせたるためである。ここに、大学・中学・小学の学校制度がスタートすることになった。

大政官は、政府の教育方針を明示した「学制頒布二付キ仰セ出ダサレ書」という公文文を出している。その内容は、
一、これまで学問は、庶民や女性には無関係の観があったが、今後は教育を普及し、国民に一人の無学者もあら

二、これまでの学問は、とかく文字記憶暗誦のみに走り、実生活に縁遠かった。今後の学問は、直接日常の用に役立つものでなければならぬ。
三、これまでの学問は、ややもすれば国家のためという遠大なことを目標とするばかりであった。今後の学問は、自分一個の生活を固め、身を立てる基とせねばならぬ。

人学ばざれば智なし
「学問のすすめ」
この教育方針が出る半年前に福沢諭吉の「学問のすすめ」初編が刊行されているが、その影響をうかがうことができる。「学問のすすめ」には次のようなことが書き述べてある。

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」であり、生まれながらに貴賤上下の差別があるわけではない。ところが広く人間社会を見渡すと智愚富貴賤が存在する。それはなぜか。「実語教」(江戸時代、人間のあり方を書きのべたもの)にのべられているように「人学ばざれば智なし、智なきものは愚人なり」であり、それは学問の有無により生じるものである。

福沢諭吉は、人間の身分があらかじめ定められているという封建思想を否定し、学問を奨励したのである。それで学問とはどのようなものか。それは身を立

てるための学問であるから、実際に役立つ学問即ち実学でなければならぬとした学問であった。自分自身の本分を果たすことができ、学問をすることにより見識を広め、独立自尊を堅持できると考えた。

平成17年度 生徒募集

募集人員(男女)商業科240名 情報処理科80名 普通科160名 計480名

専 願 生	特 待 生	一 般 生
試験日 1月25日(火)	1月25日(火)	2月15日(火)
合格発表 1月28日(金)	1月28日(金)	2月21日(月)
出願期間 1月13日(木) ~19日(水)	1月13日(木) ~19日(水)	2月4日(金) ~9日(水)
奨学特待生	特待特待生	
科 目 国・数・英・面接	国・数・英・社 面接	国・数・英 運動能力テスト

平成17年度 学校説明会

日時 平成16年11月13日(第2土曜日) 8:50~11:20(受付8:20~)

内容 学校説明および校内見学
場所 熊本国府高等学校
※三年生の皆さん見聞にどうぞ！保護者の方もお待ちしております

映画「聞こゆるや」上映のご案内

本校を今年卒業した太田強志君(上・益城中出身)が主演を演じている映画「聞こゆるや」の上映会を下記の通り特別企画しました。中学生のみならず(保護者の方も)、お問い合わせの上、ご来場下さい。

期 日：平成16年11月23日 場 所：熊本テルサ
(熊本市水前寺公園28-51)
開 演：13:30~14:00 TEL 096-387-7777
上映期間：14:00~16:13 入 場 料：無 料

女子ハンドボール部 3位 '04

20	準決勝対杉野園	20	準決勝対浦添	25	3回戦対高山	25	2回戦対横須賀	23	1回戦対総社南
31	(愛知)	15	(沖縄)	11	(岐阜)	16	(神奈川)	12	(岡山)

顧問 井手 和洋 コーチ 井手 優
 コーチ 佐々木美和子

学年	組	氏名	出身中学校
F3	3	田中 恵果 主将	下益城・松橋中
F3	3	小松 史	天草・都呂中
S3	4	西若 都美	八天・都呂中
F3	4	松若 真由	山鹿・山鹿中
F2	3	米岡 由衣	山下・小川中
F2	4	稲葉 衣子	下益城・小川中
F2	4	長池 沙美	山鹿・深松中
S2	3	池島 亜沙美	山下・深松中
S2	3	川城 恵美	下益城・松橋中
F1	5	藤島 未菜	下益城・神橋中
F1	2	佐藤 友利	下益城・神橋中
S1	5	錦戸 美和	本渡・本渡中
J1	1	万貴	熊本・西原中
F3	4	阿部 あゆみ	上益城・七瀬中

F...普通科 J...情報処理科 S...商業科



県総体で優勝し、全国高校総体(中国04総体)に出場した男子ハンドボール部



県総体で優勝し、全国高校総体(中国04総体)に出場した男子バスケットボール部(後列向って右から3人目が小林君)



銅メダルを手に笑顔を見せる女子ハンドボール部員

今年の全国高校総体は「君の輝く一瞬が今伝説となる」をスローガンに「中国04総体」として島根県を中心に中国五県で開催。本校からは熊本県大会で優勝した女子ハンドボール部、男子ハンドボール部、男子バスケットボール部、及び南九州大会で入賞した陸上競技部の岩見和明君、塚本祥也君、後藤孝光君が出場し、女子ハンドボール部が全国3位に輝いた。

インターハイに登場して

男子バスケットボール部

普通科三年三組 小林 公彦
(熊・錦ヶ丘中学出身)

私たちは男子バスケットボール部は、五月から六月にかけて行われた総体の熊本県予選で初優勝し、熊本インターハイ以来二度目の「インターハイ出場権」を手にすることができました。しかし、このような舞台に立つまでには大変な苦労がありました。今年こそはと挑んだ一昨年、昨年ともに県で優勝できる実力を持っていながらも予選決勝でまさかの敗退、インターハイに出場することができませんでした。夏の大会には縁がないという運命だったかのように思います。今度こそはこの運命を打破するべく「インターハイ出場」という目標を胸に毎日の厳しい練習に弱音を吐くことなく頑張ってきました。その結果、県予選では、相手をよせつけない圧倒的な力を見せつけ初優勝を飾ることができました。八月に開催された全国大会ではベスト8の座を獲得することを目標としていましたが、初戦を僅差で負けるという最悪の結果に

終わりに、ただ悔しさが残る一試合になってしまいました。しかし、負けたからこそ学んだ点も数多くありました。例えば、シュートやパス一つにしてもその大切さや、技術がある、ないではなく自分がやってみようという前向きな気持ち、転がったボールに飛びつく執着心一人ひとりが自分の役割を果たさなければならぬという責任感などといったバスケットボール競技において、とても大切な部分でした。この大会を通じて個人、チームにとって貴重な経験、勉強をさせてもらいました。現在は、冬に行われるウィンターカップに向け日々の練習に励んでいます。インターハイで学んだことを活かして、今度こそ全国ベスト8に入り、悔いの残らないようなバスケット人生にしたいと思えます。また、必ず熊本県に帰って帰ることを約束します。これからも応援よろしくをお願いします。

全国大会出場

H16.4~H16.9

出場部	全国大会名	大会会場
陸上部競技部※	平成16年度全国高等学校総合体育大会(8/1~8/7)	島根県立陸上競技場
女子ハンドボール部		山口県周南市
男子ハンドボール部		山口県周南市
男子バスケットボール部		島根県松江市
珠算部	第51回全国高等学校珠算競技大会(7/30)	三重県宮サアリーナ
バントワリ部	第28回全国高等学校総合文化祭(7/30~8/3)	徳島県徳島市
将棋(個人)※	第28回全国高等学校総合文化祭(7/30~8/3)	徳島県徳島市
	第17回全国高校将棋竜王戦(8/19~8/20)	福岡県太宰府市

※陸上部競技部... 男子5000m 商業科3年岩見和明(下:小川中学出身)
 男子5000m 情報処理科2年塚本祥也(阿:小国中学出身)
 男子1500m 情報処理科3年後藤孝光(阿:白水中学出身)
 男子3000m障害 情報処理科3年後藤孝光(阿:白水中学出身)
 ※将棋(個人)... 普通科1年 清田 翔(熊:託麻中学出身)



全国高等学校総合文化祭(H16.7.30)に出場したバントワリ部 前列向って左端 古庄コーチ



全国高校総体(中国04総体)に出場した陸上部 向って左より 塚本君、後藤君、岩見君

体育大会

平成16年10月1日(金)
於:パークドーム熊本

▲開会式で挨拶する星子校長

▶1年女子の技走(タイフーン18号)台風の目になったのはどの回でしょうか?

▼開会式で挨拶する生徒会長の森 賢太郎君

▶2年男子の組体操にはこんな場面もありました。バランスを保つのがむずかしい。

▲開会式、開会式で活躍した吹奏楽部

▲1年生全員による「国府体操」

▲万歳三唱の音頭をとる梶尾泰之 育友会会長

▶オープニングはバントワリ部による演技で華やかにスタートしました。

◀「部活動対抗リレー」スピードとチームワークの見せどころです

▶3年女子の集団演技映画「座頭市」の曲にあわせて踊りました。

進学・就職への取り組み

進路セミナー

本校では生徒一人ひとりが、進路について真剣に考え、またその夢が実現できるように、課外・模擬試験などの他、進路セミナー、進学ガイダンス、卒業生に聞く会、面接指導などさまざまな取り組みを行っています。

本校主催の進学ガイダンス

県内外の大学・短大・専門学校から本校に来ていただき、本校体育館内に設けたブースで個別に説明を受けます。(参加校合計39校)



熱心に説明を聞く本校生

本校体育館での進学ガイダンス



就職

希望する生徒のためのセミナー
就職の現状や受験対策等について熊本公共職業安定所の指導官のお話を聞きました



(本校体育館)



進学

希望する生徒のためのセミナー
大学・短大・専門学校の現状や入試対策について専門の講師の話を聞きました。



美容師専門学校セミナー



家政系学校のセミナー



情報ビジネス系学校セミナー



大学入試のセミナー

看護福祉系学校セミナー

小論文講習会



公務員受験

希望する生徒のためのセミナー
公務員試験の現状と試験対策



公務員試験の現状と試験対策

インターンシップ

これは生徒が産業や職業の現場を体験することにより職業観・勤労観を育成し、自らの生き方を体得するために行われるもので、本校では平成十一年度より実施しています。今年も五十一名が十一事業所のご協力を得て夏休み一週間の就業体験をしました。感想の一つを紹介いたします。

インターンシップに参加して

実習先 (株)鮮ど市場

商業科2年5組 本田享土朗 (阿・高森中学出身)

ぼくは、最初に、「挨拶と笑顔は大切だ」と言われていたのを、それを特に意識して実習に励みました。そして積極的に動くように務めました。はじめは仕事がおぼつかなく、きつところもありましたが、お客様がありがとうございましたと言ってくれたりすると、またやる気が出ていきました。次第に商品のズレなど、周りがどんな見えてきて新しい発見がありました。お客さんが、商品についてよく尋ねてきて答



商品を整理する本田君



高校調へて本校訪問

◀総合的女学館・進路学習の一環として本校を訪問した熊本市立西原中学校の生徒さん

▲菊郷中学校の生徒さん(本校玄関前で)

▲昇平中学校の生徒さん(トレーニングセンター前で)

※来校されて写真がなかったみなさんごめんない

平成16年6月22日

卒業生に聴く会

高木 絵里 (雪印種苗株)	(H12年度)
門築健太郎 (鮮ど市場)	(H14年度)
小山 慎吾 (湖東カレッジ情報建築専門学校 建築科2年)	(H14年度)
守田 有里 (熊本県立保育大学校 保育科)	(H14年度)
西窪 将志 (順天堂大学(スポーツ健康科学部)スポーツ科学科 4年)	(H12年度)
片岡 敦司 (崇城大学院(工学研究科)電気・電子工学専攻)	(H10年度)

3月には、国・公立大学をはじめ、今年の大学合格者の話を聴きました。

普通科2年生の

夏季学習合宿

H16.8.24 ~ H16.8.26

今年の学習合宿会場は、阿蘇ピラパークホテル。涼しい環境で学習に集中しているのは、普通科2年生の数学の教室

一日体験入学

参加者 549名 H16.7.24(土)
参加中学 88校

- ▶ 美しパソコン教室での体験学習。本校のホームページの制作を通して、実習。(本校には3つのパソコン教室がある)
- ▶ 受付で順番を待つ中学生。今年も沢山の中学生の皆さんが参加しました
- ▶ 進学相談室。全国の大学の資料がいっぱい。(目標を持って勉強すること)
- ▶ 礼法室での指導は、入室前から始まります。(礼法室と隣の礼法室)
- ▶ 電中の体験学習。電中のいるいる機能名を学びました。
- ▶ ミニシアター入場。この劇場で「花子」の体験学習。(1階の劇場は平日は生徒の会堂)
- ▶ トレーニングセンターも見学。(二階の小体育館)

クラブマッチ

今年のクラブマッチは女子が全年パーレール男子が全年サッカーでした。女子のパーレールは体育館で、男子のサッカーはグラウンドで行いました。熱戦の連続で暑さを忘れるクラブマッチでした。

海外交流特集

昌文女子高等学校(韓国)と

親善交歓ハンドボール競技大会

期 間

平成十五年十二月二十三日

～二十七日

競技会場

昌文女子高等学校(韓国)

体育館

宿泊場所

ホームステイなど

昨年十二月末、本校女子ハンドボール部は、韓国の昌文女子高等学校との第二回目の「親善交歓ハンドボール競技大会」に参加しました。(第一回は平成十四年十二月に本校で開催)左は女子ハンドボール部主将田中 恵さんの感想です。

昌文女子高等学校の体育館で記念撮影(前列より左より三人目が田中さん)



昌文女子高校(韓国)との交流を終えて

普通科二年現在三年田中 恵

(下松橋中学出身)

十二月二十三日から二十七日にかけて、韓国の昌文女子高校とのハンドボールの交流が昌文女子高校の体育館で行われました。去年も交流会が熊本で行われていたので昌文女子高のメンバーと再会できたときはとてもなつかしく感じました。

翌日から交流試合が始まりましたが、昌文女子高のプレーはスピードがあつて正確なプレーばかりで、私達が見習わなければいけないところはあつた。自分達の課題がわかってきたのでロングシニアに対してのDFをたくさん練習しました。試合を重ねるごとにDFがよくなつてきました。ここぞという場面でミスがあり交流試合では惜敗してしまいました。しかしこれからの課題が明確になり、それを次の選抜大会県予選までに克服できるように一日一日の練習を頑張りたいと思います。

この交流試合を終えて私達のチームは昌文女子高からたくさん学ぶことができたと思います。特に昌文女子高の精神的な強さは私達に足りない所であつて、これからのチームの課題の一つだと思います。また昌文女子高から学んできたことをこれからの練習や試合で生かして交流試合での成果ができるように部員一丸となつて頑張りますので応援よろしくお願ひします。

熊本市とハイデルベルク市の青年交流訪問

熊本市とハイデルベルク市の青年交流訪問

普通科二年三組 原川 聖悟

(熊鷹中学出身)

私は今年の夏休みに青少年交流団の一員として約一週間、熊本市の姉妹都市であるドイツのハイデルベルク市を訪問しました。

ハイデルベルク市の街並みは、たくさん緑に囲まれてとても美しいものでした。湿度も少なく、町の人々はとても友好的で親しみやすく、私はすぐにこの街を気に入りました。山の上には大きなハイデルベルク城があり、その前にはネッカー川が流れていました。そして、なんとドイツの首都であるベルリンまで車で約一時間の距離にあり、ハイデルベルクの生活は、一人ずつのホームステイでした。私のパートナーはマルセル・ユッセル君で、彼は本当に優しく、話すことが大好きな人で、共に音楽の話をしたり、彼の家で、エレキギターを演奏したりして、友情を深めていきました。彼の家族は両親と兄、姉の五人で、犬、猫、鳥の三匹でした。彼が家族との交流を楽しみにしていました。また、残念な事に家族との交流はあまりありませんでした。というのもマルセルと兄はパソコンパーティーというのに出席して、四日間ぐらいい家にいなくて、父は医者だったのでとても忙しく、いつも私と母と姉の三人でのパーティーやドイツの街に連れて行ってくれたりして、毎日毎日朝から夜まで遊んでいました。ドイツ人はお金を使う遊びはあまりしません。バンドを組んで演奏をしたり、球技をしたりします。なかでも私にとって一番印象に残っているのは、パーベキューパーティーの時にバンドを組んで演奏したこと。曲名はHYの「FAMILY」です。

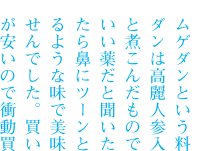


ハイデルベルク市長を訪問(市庁内で)中央が原川君、向って右がマルセル君

APの「世界に一つだけの花」等々でした。私がエレキギターを、緒方君がアコースティックギターをし、カトリンがキーボードをし、エレナがボーカルをやりました。初めは、日本語で歌って大丈夫なのかどうか不安でしたが、とても演奏できるような余裕はありませんでした。八月二十五日から三十日まで沖繩県で行われた日韓スポーツ交流にも参加しました。

韓国には、夏休み期間の三泊四日間韓国研修会へいきました。ホームステイ先の家はとても温かく迎えてくれて、親切な方でした。兄弟はよく喧嘩をするのですが、本当は仲良くそれが日常茶飯事だそうです。ほとんど英語話だったので、たまに日本語で話すこともありますが、韓国語で話すことがありません。とても広々としていました。テレビの画面が大きく、約五十チャンネルも見れてNHKの電波が入っていました。パルエティーや恋愛ドラマといった日本と似たような感じでした。一日の生活は私達とさほど変わらなくて、宗教などの習慣はやはりキムチ!!珍しいものはキュウリのスープとサムゲタンという料理です。サムゲタンは高麗人参入りの若鶏を丸ごと煮込んだものです。高麗人参はいい薬だと聞いたので、食べたら鼻にツーンときて、舌にしみるような味で美味しいと言えませんでした。買い物へ行き、物価が安いので衝動買いをし、とても満足しました。帰りは荷物が多く重くて、疲れ果てて無言になってしまいました。

お別れパーティーでみんなとの交流が最後だったので、思いっきり楽しみ、今まで話したことがない韓国の子たちと英語で話しかけた。人見知りする性格だったので、嘘のように周りの人と打ちとけていて、自分でも驚きました。時には言葉が通じなくて、自分に無力を感じましたが、今となってはいい思い出です。韓国に行つて言葉で思いを伝えることが大切だと学びました。言葉にしないと相手に理解してもらえないので、そう思ったことで少し大きくなれた気がします。この経験を生かしてもっともっと自分を磨いていこうと思います。



一番後が酒田さん



本校、女関で記念撮影(前列より左より一人が熊鷹高校の教頭先生)



平成十六年五月二十六日(水)

昌文女子高校ハンドボールU16

選抜(韓国)

女子ハンドボール部普通科一年の佐藤友利恵さんが全日本女子ハンドボールU16に選ばれました。佐藤さんはチームとともに六月三十日から七月五日まで韓国(ソウル市)で開かれた第八回日韓スポーツ交流に参加しました。また、八月二十五日から三十日まで沖繩県で行われた日韓スポーツ交流にも参加しました。



全日本女子U-16に選ばれた普通科1年(下松橋中学出身)の佐藤友利恵さん

昌文女子高校ハンドボールU19

選抜(タイ)

女子ハンドボール部普通科三年の小松史香さんが全日本女子ハンドボールU19に選ばれました。小松さんはチームとともに七月一日から七月八日までタイ(スプハンブリ)で開かれた第八回アジア女子ジュニア選手権兼第十五回世界女子ジュニア選手権予選に参加しました。



全日本女子U-19に選ばれた普通科3年の小松史香さん(天都宮女中出身)

インターアクティブクラブが韓国訪問

国際ロータリー第二七三〇地区インターアクティブ委員会主催のインターアクティブ海外親善交流事業に本校インターアクティブの商業科三年唐田美香さん(熊鷹中学出身)と商業科二年高野薫さん(熊鷹中学出身)二人が参加しました。今回は七月三十一日(土)から八月三日(日)までの三泊四日の韓国(釜山・慶州)研修でした。唐田さんの報告です。

「手習い」韓国

商業科三年 唐田 美香

(熊鷹中学出身)

私たちは、夏休み期間の三泊四日間韓国研修会へいきました。ホームステイ先の家はとても温かく迎えてくれて、親切な方でした。兄弟はよく喧嘩をするのですが、本当は仲良くそれが日常茶飯事だそうです。ほとんど英語話だったので、たまに日本語で話すこともありますが、韓国語で話すことがありません。とても広々としていました。テレビの画面が大きく、約五十チャンネルも見れてNHKの電波が入っていました。パルエティーや恋愛ドラマといった日本と似たような感じでした。一日の生活は私達とさほど変わらなくて、宗教などの習慣はやはりキムチ!!珍しいものはキュウリのスープとサムゲタンという料理です。サムゲタンは高麗人参入りの若鶏を丸ごと煮込んだものです。高麗人参はいい薬だと聞いたので、食べたら鼻にツーンときて、舌にしみるような味で美味しいと言えませんでした。買い物へ行き、物価が安いので衝動買いをし、とても満足しました。帰りは荷物が多く重くて、疲れ果てて無言になってしまいました。



本校、女関で記念撮影(前列より左より一人が熊鷹高校の教頭先生)

サッカー部は七月二十九日から八月三日まで韓国へ遠征し、強豪高校との交流試合を終え帰国しました。全国高校サッカー選手権県予選は十月二十三日キックオフ。

インターアクティブ

今年4月、英語の先生にアンジェロバ・ケイティ先生(ニュージーランド出身)をお迎えしました(ヘレン先生は3月英国に帰国)。本校ではティームティーチングで授業を担当されています。趣味は、読書、水泳、山登り、スノーボード等。お刺身、納豆も大丈夫とのこと。休みの日は、九州各地を訪問し日本のことを勉強されている熱心な先生です。



「熊鷹女子高校」(韓国)の訪問



本校、女関で記念撮影(前列より左より一人が熊鷹高校の教頭先生)